

| | | | | | | | |
|---|--|------|-------|------|------|-----|----|
| 科目区分 | 専門分野 | 履修学年 | 2 年前期 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |
| 科目名 | 精神看護概論保健 | | | 担当教員 | 専任教員 | | |
| 使用テキスト | 1) メディカ出版 精神看護学 ①情緒発達と精神看護の基本 | | | | | | |
| テキスト以外の教材・参考書等 | 1) 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎<1><2> 2) 医学書院 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 3) 南江堂 精神看護学 I 精神保健・多職種のつながり ころ・からだ・かかわりのプラクティス 4) メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健 | | | | | | |
| 授業の概要及び到達目標 | | | | | | | |
| <p><u>授業の概要</u></p> <p>本科目では精神看護の実践の基礎となる、こころのしくみと働き、こころの発達と精神の健康問題、精神の健康問題が人々の生活に及ぼす影響、精神保健福祉に関する法律と制度を学ぶ。講義方法は講義を主とし、グループワーク提出課題にて展開する。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の看護の目的、対象を知り看護の役割について述べられる。 2. 精神に障害をもつ人を守る法律・制度について述べるができる。 3. 精神を障害された人とその家族の思いについて考えることができる。 4. 精神科看護の現状と課題を理解し、今後の看護の方向を展望することができる。 5. 精神看護における人権擁護と倫理的配慮について自分の考えを述べるができる。 6. 精神保健福祉サービスにおける多職種の協働について説明できる。またその中で看護師が果たす役割を考えることができる。 7. 災害時の地域精神保健医療活動について理解できる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験 レポート提出 グループワークの参加状況など | | | | | | |
| 備考 | 関連科目：心理学,カウンセリング,解剖生理学,関係法規,社会福祉,社会保障,公衆衛生学,災害看護,生命倫理,家族社会学,地域の健康と社会生活,在宅看護論 | | | | | | |

| 回数 | 授業計画 学習内容 | 備考 |
|----|---|---------------|
| 1 | 「精神看護」の分野 精神看護とは・精神看護の役割の広がり・精神看護の専門性 | 講義 |
| 2 | 精神医療の現状と課題 入院治療中心から地域生活中心へ | グループワーク 講義 |
| 3 | 精神医療福祉の歴史と現在の姿 精神医療の歴史 | 講義 |
| 4 | 精神医療福祉の歴史と現在の姿 精神障害をもつ人を守る法律 | 講義 |
| 5 | 精神的健康の保持・増進としての精神保健 精神の健康とは・ストレスマネジメント・リカバリー | グループワーク 講義 |
| 6 | 「精神(心)」の捉え方 脳の構造と認知機能・精神(心)の構造と働き・自我の防衛機制 | グループワーク 講義 |
| 7 | 精神(心)の発達に関する主要な考え方 エリクソンの発達理論・ボウルビーの発達理論・ピアジェの発達理論 | 講義 |
| 8 | 精神(心)の危機状況と精神保健 危機とは・ストレスとコーピング・適応と不適応 | グループワーク 講義 |
| 9 | 家族と精神(心)の健康 家族とは・夫婦関係・親子関係・家族ライフサイクル・家族システム | 講義 |
| 10 | 暮らしの場と精神(心)の健康 *現代社会と精神(心)の健康内容含む | グループワーク |
| 11 | 学校と精神(心)の健康 職場・仕事と精神(心)の健康 地域における生活と精神(心)の健康 | 講義 |
| 12 | 医療の場における精神(心)の健康 | 講義 |
| 13 | 精神保健医療における医療の形態と患者の処遇 入院医療の形態・入院患者の処遇と権利擁護 | グループワーク 講義 |
| 14 | 災害と精神看護 | 講義 |
| 15 | 終講試験 まとめ解説 | |